

平成27年度

# 学校評価報告書

智辯学園奈良カレッジ小学部

学校法人 智辯学園

# 1. 学校評価総括

建学の理念	「誠実・明朗」 ―心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する―	
教育目標	<p>1.能力を最大に伸ばす ―学力向上の取り組みの充実―</p> <p>2.豊かな人間性を育む ―心を育む教育の推進―</p> <p>目標とする人物像</p> <p>1. 明朗で知性溢れる人</p> <p>2. 不屈の精神を持って使命感を全うする人</p> <p>3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人</p> <p>4. この世に生を受けた幸福を知る人</p>	
これまでの成果と課題	<p>これまで本校では、人間としての土台、人として生きる基本をしっかりと養うことが将来の成長を期す上で何より大切であると考えて、低学年から基本的な生活技術や社会的スキルの習得、基本的な生活習慣と学習習慣の確立を大切にしながら教育を丁寧に行ってきた。また、高学年については、少しずつ主体的に活動できるように「自ら考え、行動すること」を促す教育を行ってきた。その結果、親身な生活指導、丁寧な学習指導、意欲的に学校行事を実施することなどは高く評価されている。また児童の礼儀正しさも評価されている。今後、教員のさらなる指導力と意識の向上を図りながら「確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた子どもの育成」を目指して、力強く教育を推進していきたい。</p>	
本年度の重点目標	具体的目標	総合評価
確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた子どもの育成	<p>1. 知的好奇心に溢れ、主体的に学ぶ意欲と態度の育成を通じた、確かな学力の向上。</p> <p>2. 友達とのつながりを大切にした、豊かで優しい人間性と社会性の育成。</p> <p>3. 粘り強い気力・体力の養成と、望ましい生活習慣の定着。</p>	<p>できるだけ実物に触れ、体験するということを大切にした授業や行事を積極的に行ってきた結果、多くの本校児童の知的好奇心や学習意欲は高くなってきた。今後とも児童全員が学習に主体的に取り組めるように指導法を改善していくことが課題である。また、児童一人一人を大切にして生活指導を行ってきた結果、人と人とのつながりを大切にする思いやりのある児童が増えてきた。今後とも具体的な事例を通じて児童とともに考えながら規範意識を高め、「感謝の心」「相互礼拝・相互扶助」の精神を養い、人としての生き方を学べるような指導の工夫を行いたい。</p>
教員の意識改革と授業改善	<p>1. 「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業作り</p> <p>2. 人に優しく、誇り高い行動をしようという意識の育成</p> <p>3. 子ども自身に考えさせる教育（教えず論さない教育）</p> <p>4. 罰を与えない教育</p>	<p>児童の主体性と意欲を重視した教科指導や生活指導は教員の中に確かに浸透してきたが、さらに校内研修を充実させ、校外への研修にも積極的に参加してもらえるように配慮し、教員の意識改革と授業改善を図っていく必要がある。</p>
入学志願者・入学者の安定確保	広報活動の充実	<p>広報活動については、特にホームページの充実を心がけて、積極的に情報発信を行った。今後とも学校独自の魅力を発信し、入学志願者を増やすための努力が必要である。</p>

## 2. 教育活動に関する評価

評価項目	具体的目標と方策	評価指標	自己評価結果	
建学の理念に基づく 学校運営方針	学校運営方針の策定	建学の精神に基づいた学校運営方針を策定し、それに則った教育が行われている。	A	B
	教育目標	宗教的情操に基づき豊かな心を持つ教養人を育成している。	B	
		児童の能力の最大開発のため誠心誠意教科指導している。	A	
教科指導	学習指導計画	年間教育計画に則った授業が行われている。	A	B
	学力養成	「わかる楽しさ、できる喜び」のある授業づくりを心掛け、確かな学力を養う授業をしている。	B	
	家庭学習	各学年に応じた家庭学習が推進されている。	A	
英語教育・国際理解	英語教育	会話重視の英語教育を行っている。	B	B
	国際理解	総合的な学習の時間などに国際理解教育を実施している。	B	
特別活動	学校行事	学校、学年、学級行事に意欲的に取り組んでいる。	A	A
	児童会・クラブ活動の 活性化	児童会やクラブ活動で自主性を重んじた活動を推進している。	B	
道徳（宗教）教育	道徳（宗教）教育	基本的な道徳的価値観や実践力の育成に取り組んでいる。	B	B
人権教育	人権教育指導計画の立案	各学年に応じた目標と年間指導計画を作成し、それに基づいた授業をしている。	A	B
	指導方法の工夫改善	児童の発達段階に応じて、人権教育にかかわる社会の諸問題に関する教育を進めている。	B	
児童指導	生活指導	学校の決まりや生活目標を共通理解している。	B	A
		規範意識、通学マナーの向上に取り組んでいる。	B	
	学年経営・学級経営	学年の教育目標や学級経営案を作成し、実行している。	A	
		児童一人一人を我が子のように大切にしたい教育ができている。	A	
進路指導	中学部進学	中学部進学に向けて高学年の児童や保護者に適切な情報を提供している。	B	B
	勤労観・職業観に関する指導	出前授業や講演会を催し、児童自身が将来を思い描けるような機会を積極的に提供している。	B	

評価は4段階 A…できている B…ほぼできている C…あまりできていない D…できていない（要改善）

評価項目	具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
安全管理	通学時の安全管理	通学の安全管理のため、各児童の通学経路等を集約できている。	A	A
	施設設備の安全管理と防災・避難訓練	校内の施設・設備の安全、維持管理がなされているとともに、防災・避難訓練を計画的に行っている。	A	
	関係諸機関との連携	不審者情報の共有等、関係機関との連絡をしている。	A	
保健管理	学校保健計画の立案	学校保健計画を作成し、そのスケジュールに従って健康診断や身体測定等を実施している。	A	A
	健康増進・体力づくり	運動への意欲・関心を高めて、児童の健康増進や体力づくりに取り組んでいる。	B	
	関係諸機関との連携	保健所、学校医などとの連絡体制を整えている。	A	
家庭との連携	学校情報の発信	毎月学校の教育内容や計画を伝えている。	B	A
	学校（授業）公開	定期的な授業参観や授業公開を行っている。	A	
	家庭との連携	家庭との連絡や相談が必要に応じて適切に行われている。	A	
	育友会の活性化	学校と育友会の結びつきを強化し、協力を得ている。	B	
組織運営	校務分掌等の連携	校務分掌ごとの話し合いがなされ、組織が機能している。	B	B
	主任者会議・職員会議	会議で話し合われたことが、教育活動や学校運営に生かされている。	B	
	職場の人間関係	教職員相互の連絡が円滑で、意欲や力が発揮できている。	B	
研究・研修	研修の計画・実施	研究主題に沿った校内研修が計画的に行われている。	C	B
	授業研究	研究授業や公開授業を行い、教員の指導力が向上している。	B	
	校内研修	校内研修の成果が日常の教育実践に生かされている。	B	
情報管理	公文書・帳簿類の保管	公文書や帳簿が整理され、安全に保管されている。	A	A
	公文書の取り扱い	遅滞なく公文書が処理されている。	A	
	個人情報の保護、管理	個人情報がしっかり保護され、管理できている。	A	
児童募集・広報	入試広報	計画的に入試広報活動を実施している。	A	A
	募集広報	ホームページの更新や学校案内の配付を積極的に行っている。	A	

評価は4段階 A…できている B…ほぼできている C…あまりできていない D…できていない（要改善）